

新規の受診
入院相談は

地域医療福祉連携室
019-684-1151



TAKIZAWA CENTRAL HOSPITAL
滝沢中央病院 だより

Vol.15
2020/8

外来案内

外来診療体制のご案内 令和2年9/1~

滝沢中央病院では下記の診療科及び特殊専門外来を設けて診療を行っております。診療希望やご質問等ございましたらお気軽にご相談下さい。
※急な変更等ございますのでご来院の際は事前に電話をお願いいたします。

診療科	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	山内 広平 (内・呼・ア)	山内 広平 (内・呼・ア)	長島 広相 (内・呼)	山内 広平 (内・呼・ア) 第1.3.5 霧木 秋穂 (内・呼) 不定期	山内 広平 (内・呼・ア) 第2.4は診察11時まで 那須 和広 (内・呼) 第2.4は診察11時から	非常勤 (内)
	午後	上原 さつき (内・血)	那須 和広 (内・血) 診察14:15から	山下 雅大 (内・呼)	下沖 収 (内・呼) 第2.4 診察14:15まで	樋口 清一 (内・呼・ア) 第2.4 高橋 智弘 (内・呼) 第2.4 第1.3は診察18:30まで	—
*総合診療科を初めて受診される方は予約制となっております。事前の電話予約をお願いいたします。							お知らせ ◇診療時間 午前9:00~12:00 午後14:00~17:00 ◇受付時間 午前8:30~11:30 午後13:00~18:30 ◇休診日 日曜、祝祭日 土曜(第2・第3) お盆 年末年始 ◇診療日等 診察日及び診療時間については 都合により変更になる場合があります ので、ご了承ください。 ◇その他 -訪問診療 -訪問リハビリテーション -予防接種 -健康診断 企業健診、人間ドック 生活習慣病予防健診 各種がん検診 等
外科(外)、乳腺外科(乳)、リハビリテーション科(リ)、漢方外来(漢)、形成外科外来(形)、褥瘡外来(褥)	月	火	水	木	金	土	
午前	那須 和佳子 (外・形・褥)	—	伊藤 浩信 (外・乳・リ・漢)	—	伊藤 浩信 (外・乳・リ・漢)	—	
午後	—	—	—	那須 和佳子 (予約) (外・形・褥)	—	—	
婦人科(婦)、女性外来(女性)、更年期外来(更)	月	火	水	木	金	土	
午前	鈴木 博 (婦・女性・更)	—	代診 岩手医大 (婦)	鈴木 博 (婦・女性・更)	代診 岩手医大 (婦)	—	
午後	鈴木 博 (婦・女性・更)	—	—	—	—	—	
皮膚科(皮) 受付11:00まで 予約制となっております。事前の電話予約をお願いいたします。(電話予約受付時間:平日 14:00~17:00)	月	火	水	木	金	土	
午前	—	—	岩手医大 (皮)	—	岩手医大 (皮)	—	
午後	—	—	—	—	—	—	

滝沢中央病院 院長

病院案内

令和2年4月より患者送迎バスを下記の通り毎週水曜日のみ運行することと致しました。
ご利用されている患者様におかれましては、ご不便をお掛けし大変申し訳ございませんが、
ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

運行日	水曜日
病院	①大釜駅 8:30→滝沢ニュータウン→病院 8:43
行き	②穴口 8:52→滝沢駅→分れ→免許センター→柳沢→湯舟沢→病院 10:08
帰り	大釜駅方面 11:40 発、一本木方面 12:00 発

※詳しい乗降場所・時間については運行表をご確認ください。運行案内はホームページ及び病院受付前にご覧いただけます。
※外来休診日(祝祭日、お盆、年末年始)は運休となります。



〒020-0664
岩手県滝沢市鶴筒笹森 42 番地 2
医療法人社団松誠会
滝沢中央病院
盛岡駅より東交通バス、滝沢営業所行(滝沢ニュータウン経由)にて25分、一本柳バス停にて下車、徒歩5分。
TEL 019-684-1151
FAX 019-684-2458
HP: www.syouseikai.jp
mail info@syouseikai.jp



滝沢中央病院 検索



滝沢中央病院 病院長 山内 広平

今年の梅雨は雨や曇りの日が多い。九州には記録破りの量の雨が降り、多くの犠牲者がでた。近年は毎年豪雨による大きな被害が出て、地球温暖化がその一因と言われている。重苦しい雰囲気を作っているのは雨雲だけではない。

今年の東京で、1月に屋形船で新型コロナウイルス感染のクラスターが出現して以来、今日まで、新型コロナウイルス感染の話が続いている。4月頃には終わるだろうという楽観的な推測は打ち砕かれ、再び感染拡大の兆しを見せている。世界に目を向ければ、北米、南米の感染拡大は凄まじい。

一方、岩手県では感染例の報告がなく、医療関係者には少し緊張を緩ませる。今年2月からのPCR検査総数が本県で1200例を超えて感染者0は本当に感染者が少ないのだと思う。最近PCR検査のハードルは下がっており、より容易に検査ができる状況になってきた。岩手県立中央病院の職員1000人に行った新型コロナウイルスに対する抗体検査で陽性者が0だったというのも本件における感染者の少なさを裏打ちしている。

(この文章を書いた翌日に岩手県に新型コロナ感染者が2人出た。ただ、他の都府県に比べればまだまだ数は少ない。)

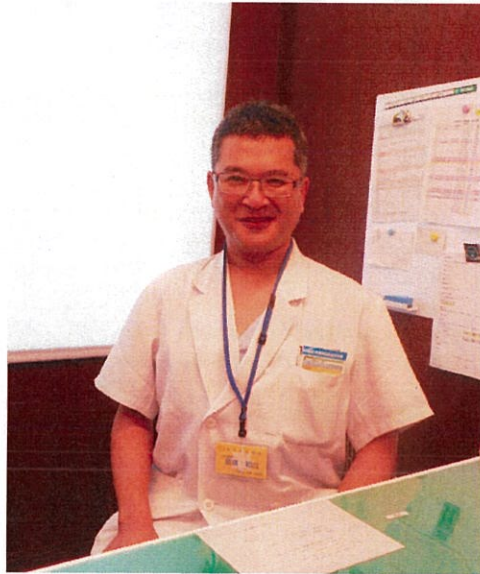
今後、大事なことは、我々の関係する医療機関、老健施設でのクラスター発生を絶対に避けなければならない。個人個人が気を引き締めて、罹らない、うつさないの意識を強く持ち、感染防御に注意を払って生活を送ってくださることを願っている。

<p>標榜診療科</p> <p>内科・糖尿病内科・呼吸器内科 内視鏡内科・外科・乳腺外科・皮膚科・ 婦人科・リハビリテーション科</p>	<p>基本理念</p> <p>よりそう医療・やさしい看護・ささえる福祉</p>
<p>特殊専門外来</p> <p>漢方外来・更年期外来・総合診療科 形成外科外来・褥瘡外来・血液外来 アレルギー外来</p>	<p>基本方針</p> <p>~私たちは実践します~</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎安心・満足できる医療を提供します ◎地域の皆様の健康を支えます ◎誠実かつ真心をもって接します ◎患者様の声に耳をかたむけます
<p>診療時間</p> <p>月~金 9:00~12:00 14:00~17:00 土 第2.3休 9:00~12:00</p> <p>診療科により診療時間・診察日が異なります。詳しくは裏面をご確認ください。</p>	

皆様、はじめまして。7月から内科に勤務している那須和広です。昭和46年2月生まれの現在49歳です。生まれは岩泉町で小学校2年生から滝沢市に住んでおり、小学校は滝沢小学校、中学校は滝沢南中学校です（当時滝沢中学校はまだありませんでした）。秋田大学を卒業後、岩手に戻り、岩手医科大学および各県立病院で循環器内科を中心とした内科診療に従事してきました。15年ほど前から、滝沢市に在住し、両親に子育ての手助けをしてもらっていました。親は今年の4月から、2人でやすらぎにお世話になっています（教員をしておりました。珍しい名字なので、「那須先生」に教わった人はもしかしたらうちの親かもしれません）。

今回は、大学を退職した後、地元で働きたいと思い、こちらで勤務させていただくことになりました。伊藤理事長、吉田事務局長、中村薬局長には数年前から何回も誘っていただき、本当にどうもありがとうございました。また、山内院長には自分が研修医の時に岩手医大にて御指導をいただき、また研修終了後も科が違ってもかかわらず、会うたびに声をかけていただいております。いつも穏やかに、診療や教授として医局員の指導をされており尊敬していました。

勤務開始後、事務局長に同伴いただき、2日かけて、松誠会、松実会の施設をほぼすべて見学させていただきました。駆け足での見学でしたが、どこの施設でも、職員の皆様、入所者さんを大切に看護・介護していることを実感しました。当院の大きな役割として、法人で唯一の病院として、入所者様の状態が悪化した時などに、各施設から安心して患者様を御紹介いただけるように、皆さんと協力して努めて行きたいと考えています。



こちらで働き始めてから、もうすぐ1ヶ月になりますが、山内先生、伊藤先生をはじめ先生方、看護師さん、介護職の皆さん、リハビリの皆さん、薬局の皆さん、栄養科の皆さん、検査科の皆さん、放射線科の皆さん、相談室の皆さん、事務の皆さん、その他病院のスタッフがみんな明るく雰囲気がいい病院で、とても仕事をしやすく、滝沢中央病院にきてよかったと思っています。

医師として働き始めた頃は、60歳くらいになったら、仕事を辞めて、ゆっくりしたいと漠然と思っていました。しかし、もうすぐ50歳になりますが、まだまだやりたいこともあり、あと10年では全然足りない気がします。法人の諸先生方を見習って、あと20年は元気で仕事をしていきたいと思っています。そしてここを最後の職場にするつもりでがんばります。地域の皆様や関係医療機関・介護施設、そして職員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。



熱 中症を予防するためには、暑さに負けない体作りが大切です。気温が上がり始める初夏から、少しづつ体を動かすようにして、適切な食事、十分睡眠をとるように心がけましょう。バランスのよい食事やしっかり睡眠をとることは熱中症にかかりにくい体作りにつながります。



対 策としては、喉がかわいていなくても、こまめにとる水分補給が大切になります。スポーツドリンクなどの塩分や糖分を含む飲料は水分の吸収がスムーズにでき、汗で失われた塩分の補給にもつながります。毎日の食事を通してほどよく塩分をとりましょう。

大量の汗をかくときは、特に塩分補給が必要です。ただし、かかりつけ医から水分や塩分の制限をされている場合は、よく相談の上、その指示に従いましょう。



工 アコンや扇風機を適度を使って睡眠環境を整え、寝ている間の熱中症を防ぐと同時に、ぐっすりと眠ることで翌日の熱中症を予防しましょう。

また、ご家族や周りの方の体調が悪くなった時は、熱中症かもしれないと疑うことも大切です。まず声をかけてあげてください。意識がはっきりしていないときは、救急車を呼ぶ必要があるかもしれません。意識がある場合は応急処置をして下さい。日当たらない場所に避難させたり、特に男性はネクタイやベルトをしめているので、緩めてあげて汗を乾かしやすくしてあげましょう。そしてよく冷やした、お茶やお水を飲ませましょう。冷えていてもアルコールはだめです。

ご近所に高齢者の方がいれば、暑い日中など特に意識してあげましょう。そんなご近所付き合



いも大切にしたいですね。